

朝鮮労働党第8回大会報告の正当性

汎アフリカ運動ウガンダ民族執行委員会委員長
ウガンダ・チュチェ思想研究全国委員会副委員長
ダニエル・ルガラム

朝鮮民主主義人民共和国の創立者である金日成主席は日本の植民地統治に反対する闘争の初期にチュチェ思想を創始しました。

J・B・ムケルジは自分の著書「偉大な金日成主席の社会、経済及び政治思想」(1983)で金日成主席は世界の数百万の人民に自主の道を示したもっとも偉大な哲学者、世界人民が高く仰ぎいただく尊敬する救い主であると書きました。

金正日総書記はエネルギーな思想・理論活動によってチュチェ思想を深化発展させて新時代の要求に即してチュチェ思想を真髄とする金日成主義を定立しました。

金正恩総書記は金日成主義をチュチェ時代の要求に即し金日成・金正日主義と定義づけました。

朝鮮労働党の金正恩総書記は次のように述べています。

「金日成・金正日主義はチュチェの思想、理論、方法の全一的な体系であり、チュチェ時代を代表する偉大な革命思想です」

金日成・金正日主義の真髄はチュチェ思想です。

金日成主席は自己の運命の主人は自分自身であり、自己の運命を切り開く力も自分自身にあると述べました。この教示は人類歴史上はじめて世界における人間の地位と役割にもっとも正しい解答を与えた科学的な思想理論です。

朝鮮人民はチュチェ思想、金日成・金正日主義の旗を高く掲げて最後の勝利を達成するために力強く前進してきました。

かつて、あらゆる曲折を経ながら帝国主義との闘争を展開した結果、アフリカの革命家たちは、アフリカ自体の力で大陸の安定と変化をもたらすための闘争をし続けてきました。この過程に全世界の人民と友人の信頼と支持を得ることができました。

いかなる支配と拘束も受けることなく、自主的に生き発展しようというのは人類の理想であり、志向です。それは自己の運命の主人は自分自身であり、自己の運命を切り開く力も自分自身にあるからです。

今、国際社会の警察を自称する帝国主義にたいする神話を粉砕する上で、朝鮮半島の問題はもっとも重要な問題の一つとして国際的な関心を集めています。

今日の同インターネット国際セミナーは朝鮮人民と東アジア地域そして全世界のすべての進歩的人民の大きな関心と期待の中で行なわれています。

私は同セミナーが反帝・自主のための地域人民の連帯をさらに強化し、世界の進歩

的人民を一つに団結させることを希望します。

朝鮮労働党第8回大会報告で金正恩総書記は、国家存立の礎石であり、国と人民の尊厳と安全、平和守護の確固たる保証である国家防衛力を持続的に強化するという革命的立場を厳かに言明しました。

報告は、朝鮮半島と世界の平和と安全を保障しようとする一念から、地域の緊張激化を防ぐためにわが党と共和国政府は善意の努力と最大の忍耐力を発揮したが、アメリカの対朝鮮敵視政策は弱まったのではなく、むしろより甚だしくなっていることについて分析しました。

報告は、共和国を狙った敵の先端兵器が増えているのを目の前で見ながらも、自分の力を絶えず培わず、平穩無事に過ごすことより愚かで危険極まりないことはない指摘しました。

報告は、続けて国家防衛力を瞬時も停滞させることなく強化してこそ、アメリカの軍事的脅威を抑止し、朝鮮半島の平和と繁栄をもたらすことができるということを示していると指摘しました。

報告は、強力な国家防衛力は決して外交を排除するのではなく、それを正しい方向へ進ませ、その成果を保証する威力ある手段になると強調し、当面の情勢の中の現実、軍事力の強化では満足というものはないということを今一度実証していると分析しました。

地球上に帝国主義が存在し、国家に対する敵対勢力の侵略戦争の危険が続く限り、朝鮮の革命武力の歴史的使命は絶対に変わず、朝鮮の国家防衛力は新たな発展の軌道に沿って絶えず強化されなければならないと報告は指摘しました。

平和と安全の側面で外部勢力のあらゆる脅威に対処できるようになると、恒久の平和と安全が保障されるということは、周知のことです。世界の歴史は今まで行われたすべての戦争は、力の均衡が破壊されるときに起こるということを見せています。

したがって、朝鮮民主主義人民共和国が自己の国家防衛力を引き続き強化するだろうと指摘した報告は実に正当なものであると思います。

金日成・金正日主義の指導的原則はわれわれの新世代のアフリカ学者がよりよい未来のための闘争で高く掲げていくべき指針です。

チュチェ思想研究ウガンダ全国委員会は、現代のアフリカ人民の要求と念願を反映した思想であるチュチェ思想にたいする戦略的普及運動の道に立ちました。

今日、世界には支配と従属を排撃し、自主性にもとづいた国際関係を樹立し、国際社会の民主化を実現することにより、すべての国と民族の自主的な発展を遂げようという闘争がくり広げられています。

こうした現実、自主性を目指す国と民族の念願は決して阻むことができないという真理を明らかにしたチュチェ思想の生命力を示しています。

自主の哲学であるチュチェ思想は自己の運命の主人は自分自身であり、自己の運命

を切り開く力も自分自身にあると示しています。

チュチェ思想は自主性にたいする人類の根本的な念願と時代の潮流を正しく反映しており、国と民族の運命開拓で提起される重要な問題に科学的な解答を与えています。

金日成・金正日主義万歳！

金正恩総書記万歳！